

空 蝉

杉原 翔

孤独は……生命があるからかしら
歳を重ねるとネ
いろんな想いが逡巡する
或る外国映画はネ 白黒から
一瞬にカラーに変わるの
ブリキのロボットも出て来てネ
少女と旅をするの
少女は 母と年代だけど
映像はネ 永遠に少女だ
母はエネルギーを放出した空蝉なの
次女と長男に先立たれた寥々の哀しみを
心の奥深くたたんだ脱け殻だ
母は言ったの
「かなしくてもお腹が空く
いやしい生命ね」
あたしとしたら……妹と弟を喪った
ひとりぼっちになつたのもあたしなの
母は 何年生きて……いられるかしら
母の生命が あたしには こわい
うすくなくなった母の指紋模様
無防備になつていく母の触覚
「お母ちゃん 居る！」
母の声がする津の家
いやしい生命が たまらなく
いとしい
いやしい生命を あたしの掌で
あたためていたい……の
あと何年……

母さん
元気で ネ
秋の陽射しが
はねかえるような
津観音さま
の
境内
泣きたくなるほど
この日が好き